

2026.03.04：大西班個別班会議

研究分担(業務量・業務環境班)

霜村 康平

京都医療科学大学

1

発表・論文執筆状況

1. これまでの成果のサマリー

- ・R5年度：放射線治療実施施設における治療装置台数、放射線治療計画装置台数、各種放射線療法の実施状況、物理技術専門職者（医学物理士、放射線治療品質管理士、放射線治療専門放射線技師）の在籍状況等と経時的変化について、がん診療連携拠点病院等の現況報告書等から収集した。
- ・R6年度：前年度の調査結果を分析し、IMRTの普及率について、装置の導入ではなく実施に必要な放射線治療経験5年を有する常勤専従の医師不足が改めて明らかになった。加えて、IMRTの施設基準要件である医師2名を緩和した場合であっても、都市部以外の地域で普及が難しい状況を明らかにした。
- ・R7年度：物理技術専門職者の在籍状況や偏在などについて、2025年度状況の調査と現状における二次医療圏におけるがん患者に対する放射線治療施設負担状況を調査した。

2. 前回会議以降の進捗内容

- ・放射線治療に関わる専門技術者の地域偏在状況の2025年度状況を調査した。
- ・放射線治療提供体制の均てん化状況の可視化と、二次医療圏における放射線治療実施施設に対するがん患者負担の状況を調査した。

3. 今後の予定

発表（筆頭のみ）

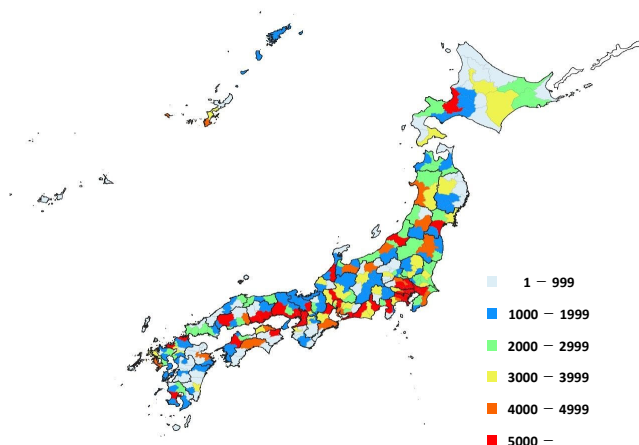
- ・放射線治療提供体制の現状調査（第42回日本診療放射線技師会学術大会、2026年10月）

2

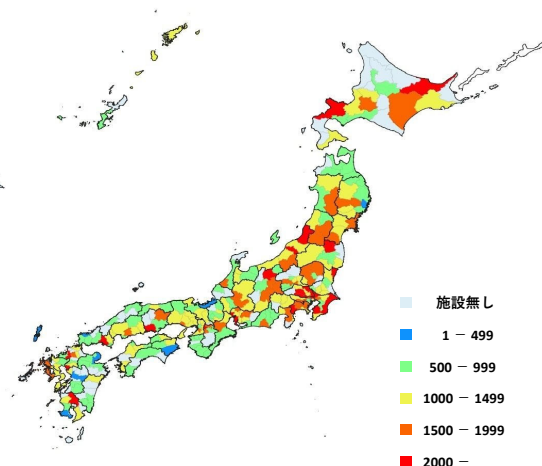
二次医療圏に対する

がん患者数(推定)

(都道府県患者数と二次医療圏の人口より推定)

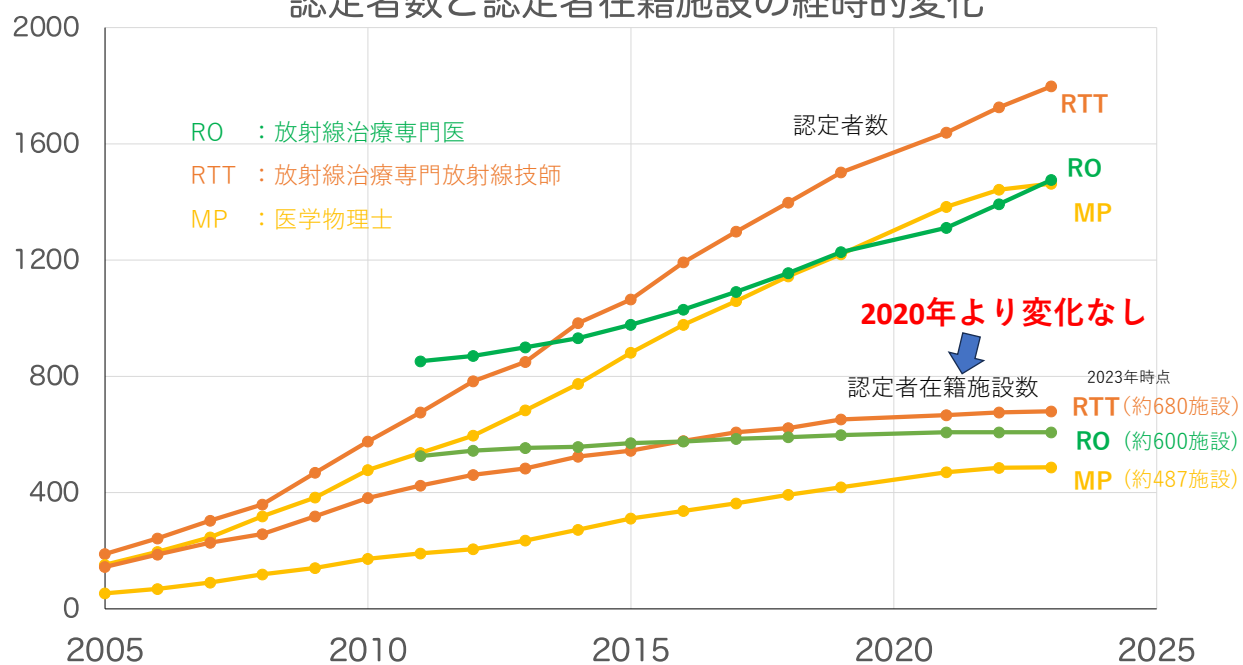


放射線治療施設あたりのがん患者数(推定)



3

認定者数と認定者在籍施設の経時的変化

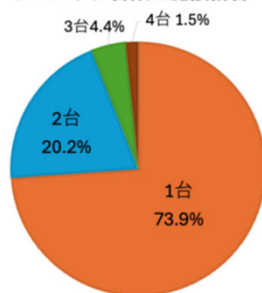


4

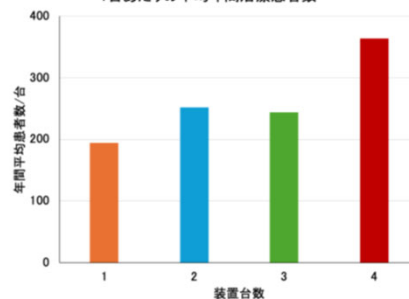
放射線治療施設状況(装置&患者)

リニアック台数	施設数 (n=854)	平均治療患者数/台数/年間 (n=579)
1	73.9%(583)	194
2	20.2%(159)	252
3	4.4%(35)	244
4 ≤	1.5% (8)	364

リニアック台数と施設割合

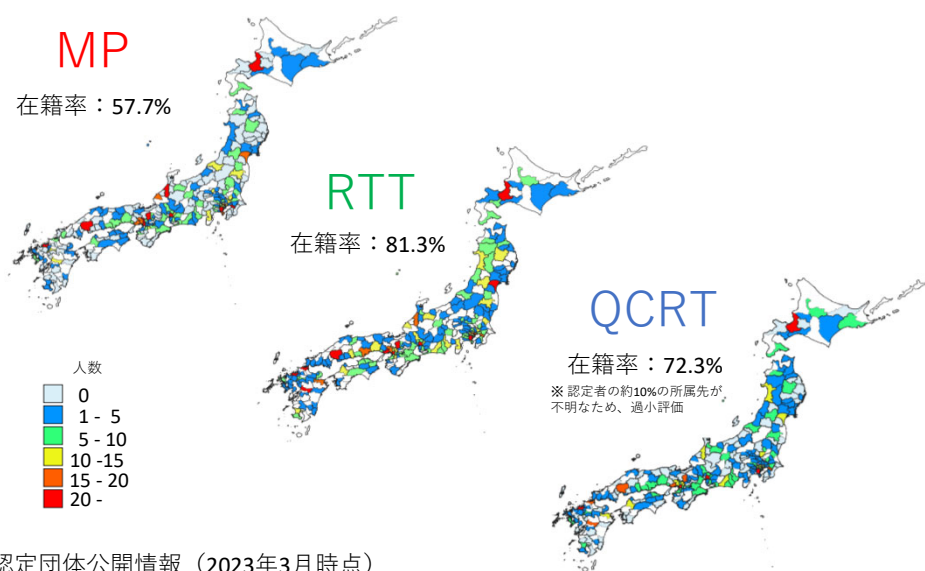


1台あたりの平均年間治療患者数



5

認定者数の分布と在籍率



6

二次医療圏におけるIMRT実施施設の分布

